編輯室の内外

歳駒奔馳して止まるの時なく不安と焦燥と物騷な一年を送り茲に昭和十二年の春を迎ふることとなつた、本年果して吾人の愁緒を解き去らしむることを得るや否、蝸牛角上に何事を爭ふにや、遮莫、吾人は唯文章報國の赤心あるのみ、何ぞ他ならんやである、いでや大方諸彥高援の下に筆硯を新にして精進せん。

我國未曾有の非常時に際し歳出四十億圓を超ゆる未曾有の尨大なる豫算が馬場藏相に依つて國民の目前に投げ出された、戰爭なからしむる爲めの國防費が其の四割五分を占めて居る計算である、貴衆兩院は果してよく之を鵜呑とするの勇氣あるか、國民は果してよく之を理解して其の過重なる負荷を忍び得るか。

客歳末に於て開會の府縣會では熾んに質問戰討論戰が行はれた。其の題目の多くは昭和十二年度の豫算事業に關するのは勿論であるが殊に吾人の注意をひきたるは吏道肅振問題、警察の人權蹂躙問題、獨善主義の行政、民意無視問題の如き民衆の要望する所に逆行せるの事象を擧げての痛烈なる詰問或は討論である、知らしめず依らしむべしとする傾向の現はれか夫れとも政黨の勢力挽回せんとするの兆候か、無責任な意見の發表は愼しまなければならぬが、國民が發言の自由を奪はれると思想は萎縮し感情は憂鬱となり其の結果は偉大なる國民は期待さるべくもなく世をあげて舊守退嬰に陷ることとなるではなからうか。

昭和八年十月以來箱根眞鶴線延長二萬米の道路開鑿が施工せられつゝあるが箱根と湯河原とを結ぶ交通道路として又箱根外輪の屋根を行く風光絶佳な觀光路線として其の開通が目睫に迫つた、人跡未踏の山腹、山頂をループ式に開鑿する命がけの難工事も進捗し最後の海拔二千八百尺の所で長さ八十米の大岩磐にブツつかり工事に一頓挫を來たした、縣當局も大に苦心し有終の功を收むべく努力して居るとの事である、速に成功を祈る。

スペインの內亂は休戰の狀態に在るかと思へば英帝エドワード八世は退位ウインザー公とならせ玉ひ、皇弟ヨーク公がジョージ六世として帝位に即き給ふた、之れと殆んと前後して支那では張學良の叛亂軍が後日の大總統を約された蔣介石を楊貴妃と因緣ある華清池溫泉で逮捕監禁した、有爲轉變の甚しきには今更の如く感ぜられ、世界の末期的現象ではなからうかとも思はる。更に我國にも迫り來るものの何物かがあるではなからうか。

無氣味な世相の裡に一愛慾狂婦の驚異的犯罪行爲に大なる興味を感ずるが如き、下田在了仙寺の觀覽禁止中の卑猥極まる珍什異器に潛行式觀覽を敢てしたるが如き訓練なき、開拓せられざる良心の持主が少からず存在するとは實に慨歎するに餘りがある。將來は如何に成り行くであらうか、精神作興問題を徒らに聲を大にして宣傳する形式的な方法で指導するも痲痺せる良心は容易に目ざめない。

思想犯保護觀察法が施行せられ二十有餘名の保護觀察所長が任命せられて林法相から――思想完成の方法は本人の國民的自覺を促し之を眞の日本人に還元せしめることを要諦とする」旨の訓示を與へられたとの事である。眞の日本人に還元せしめなければならぬ人間は思想犯釋放者に限るのであらうか。思想犯者ならで僞裝的日本人はなきか右傾思想を標榜して私利私慾を圖るの擬似日本人はなきか噫。（洮）

定價一部　五十錢
一ヶ年分　金六圓

東京市麴町區外櫻田町一番地內務省內
發行所　社團法人　道路改良會
電話銀座(57)四二七七

東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二
發行兼編輯者　小島效

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所　常磐印刷所
印刷者　奈良直一